

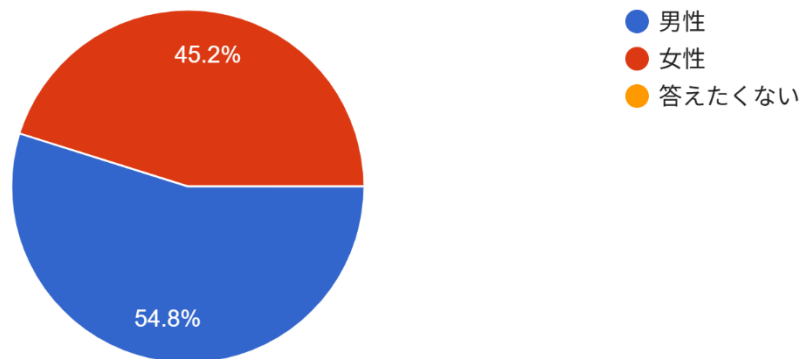
# 「救急電話相談の現況と今後の展望」アンケート

- 2026年4月11日（土）開催
- 回答数31名

I. ご自身についてお聴きします。

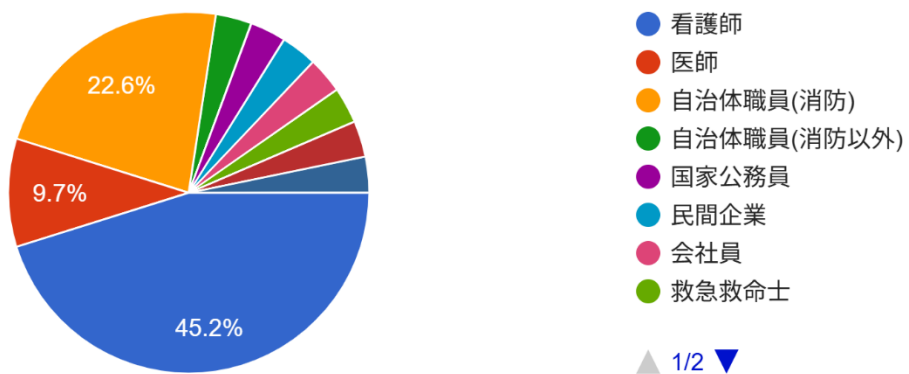
## 性別

31件の回答



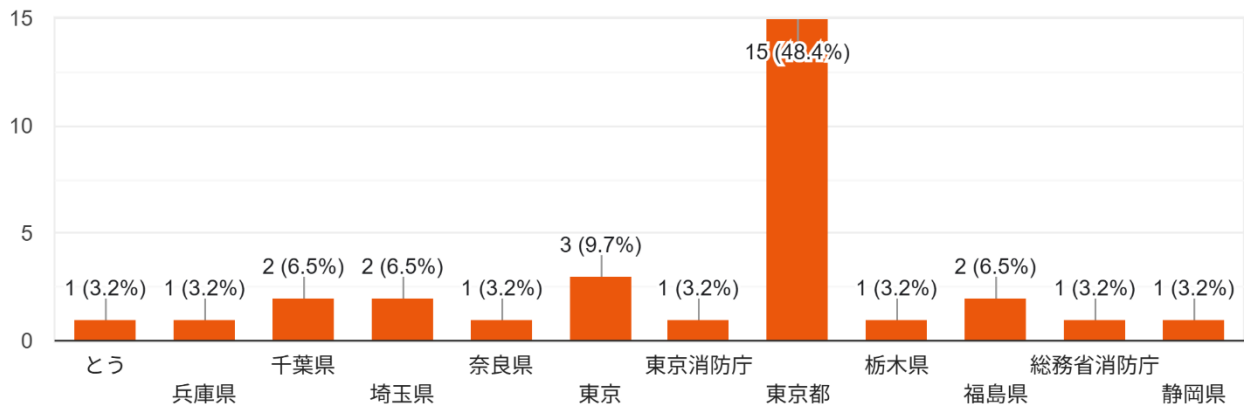
## 職種

31件の回答



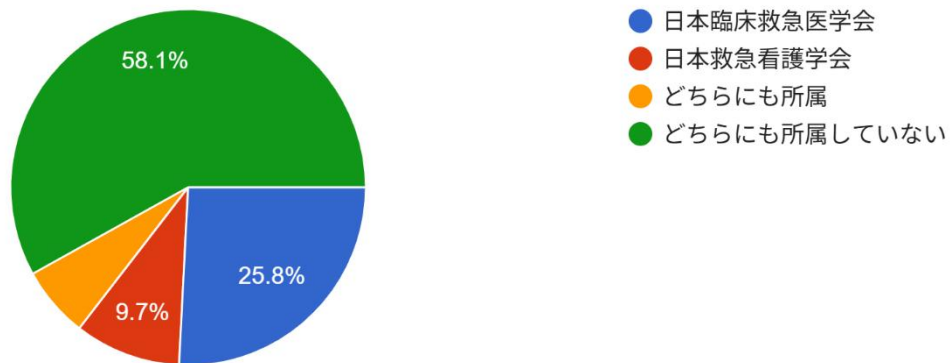
ご勤務先の都道府県

31件の回答



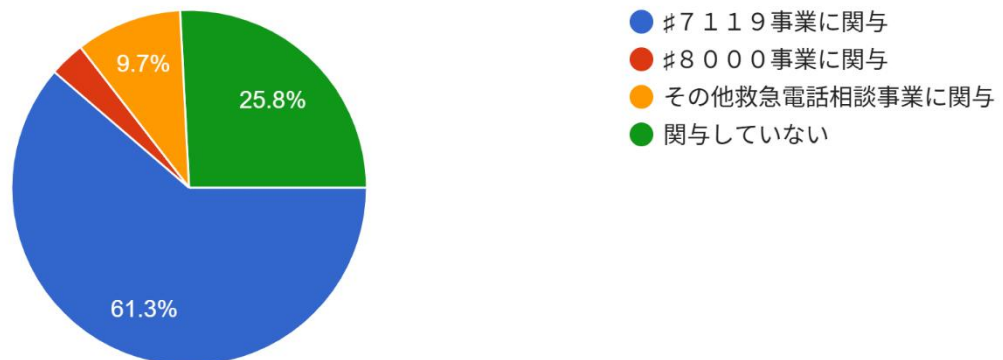
ご所属学会

31件の回答



救急電話相談事業への関与について

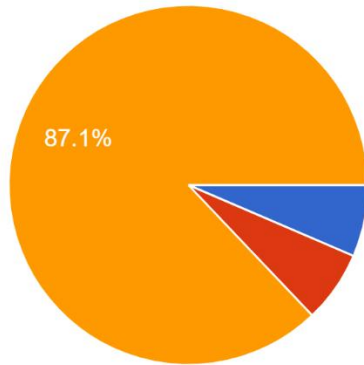
31件の回答



## Ⅱ. プログラムについてお聴きします。

### A. 「基調講演」について：講演内容のボリューム

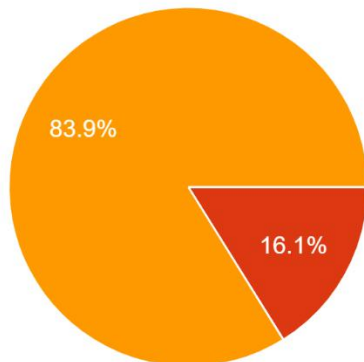
31件の回答



- 多かった
- やや多かった
- ちょうど良い
- やや少なかった
- 少なかった

### A. 「基調講演」について：講演内容の難易度

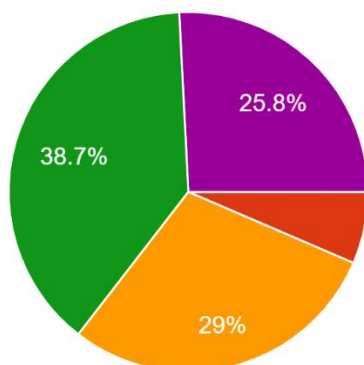
31件の回答



- 大変難しかった
- 難しかった
- 普通
- 簡単だった
- 大変簡単だった

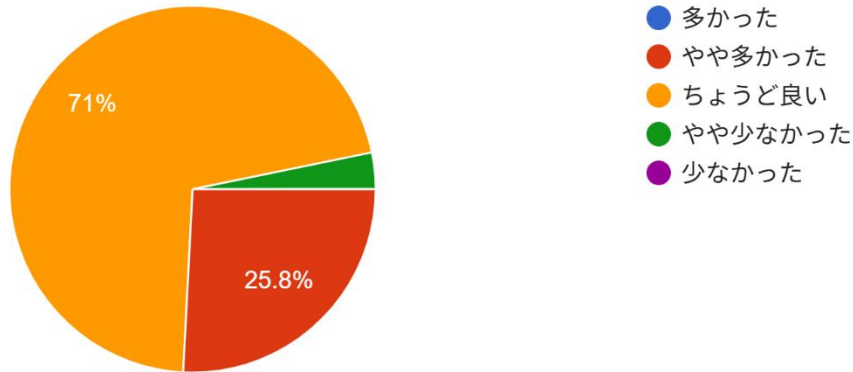
### A. 「基調講演」について：講演内容の理解度

31件の回答

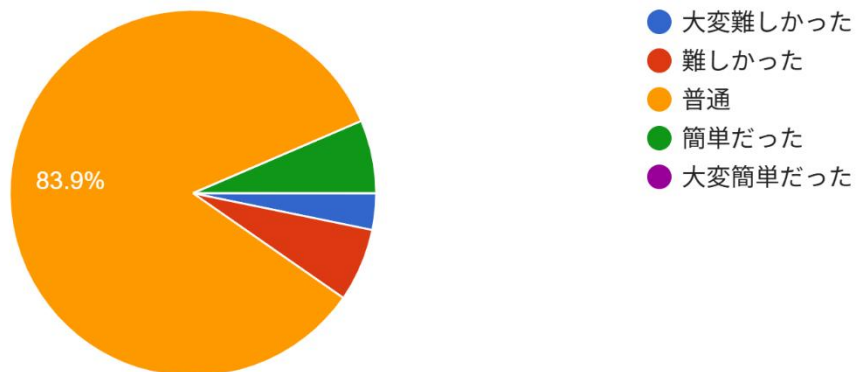


- 大変理解できなかった
- 理解できなかった
- 普通
- 理解できた
- 大変理解できた

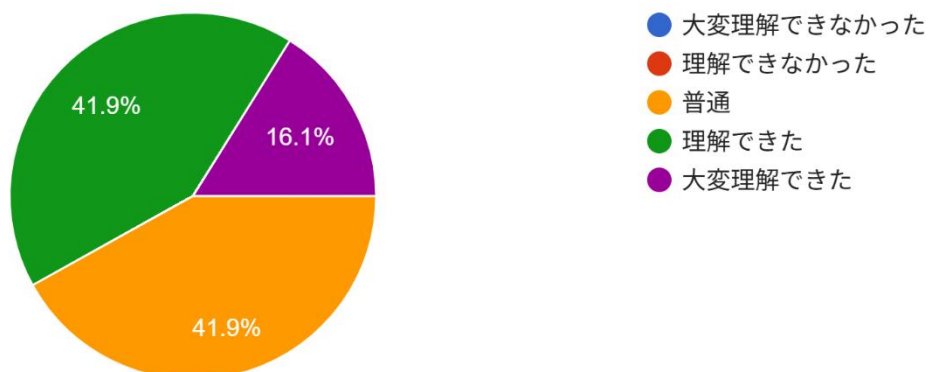
B. 「第1部」について：講演内容のボリューム  
31件の回答



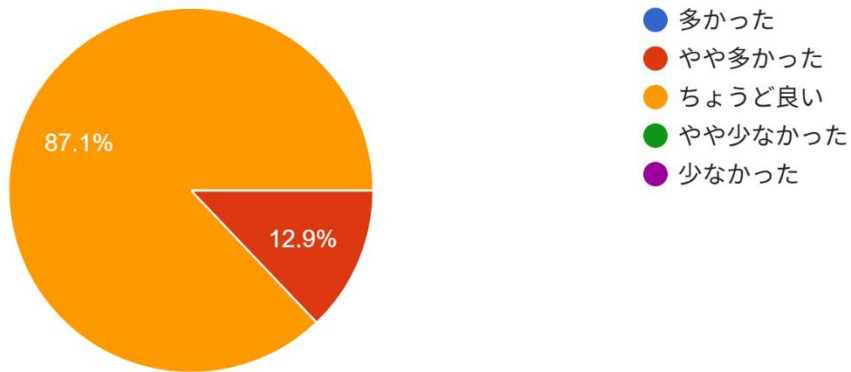
B. 「第1部」について：講演内容の難易度  
31件の回答



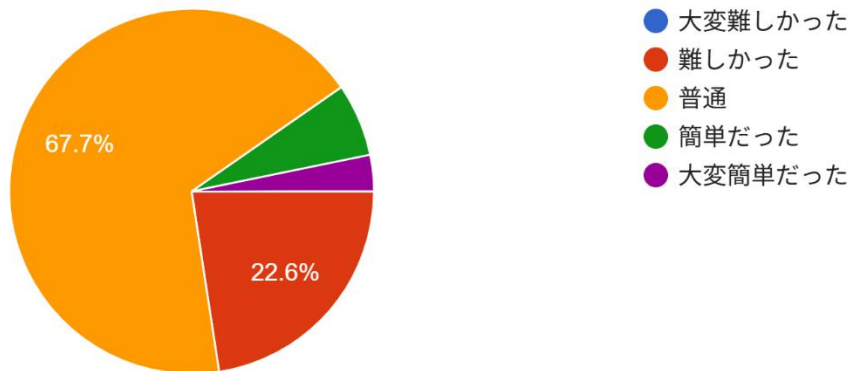
B. 「第1部」について：講演内容の理解度  
31件の回答



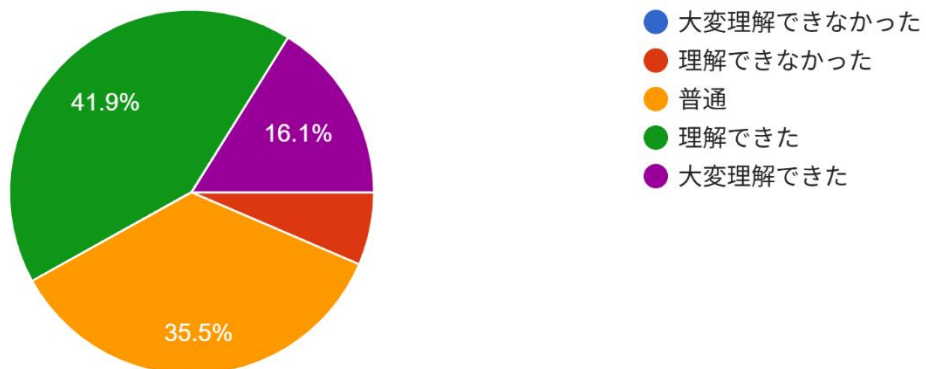
C. 「第2部」について：講演内容のボリューム  
31件の回答



C. 「第2部」について：講演内容の難易度  
31件の回答

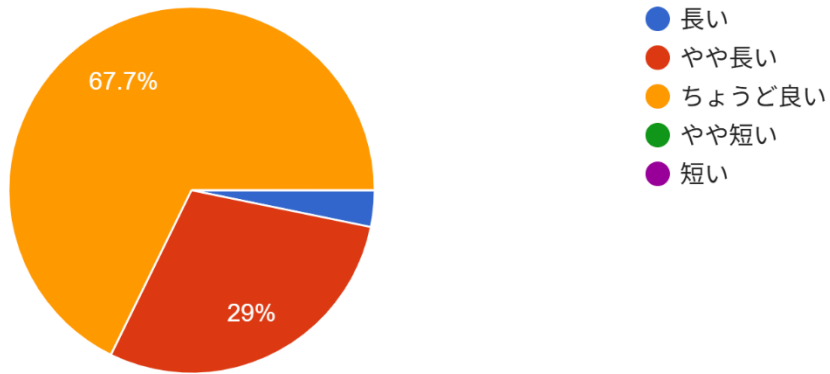


C. 「第2部」について：講演内容の理解度  
31件の回答



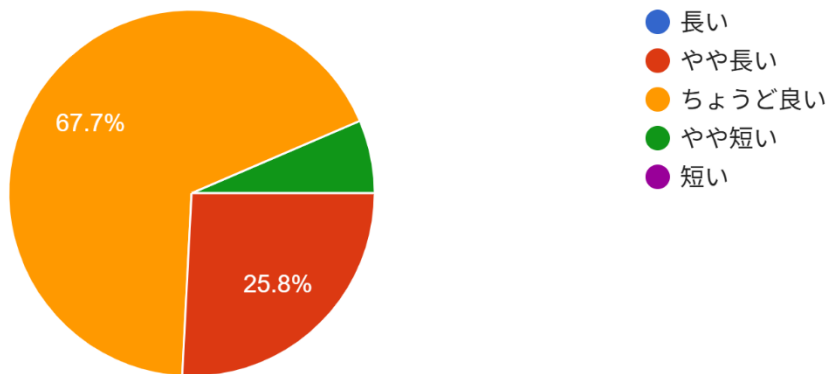
### D. シンポジウム全体について：開催時間

31件の回答



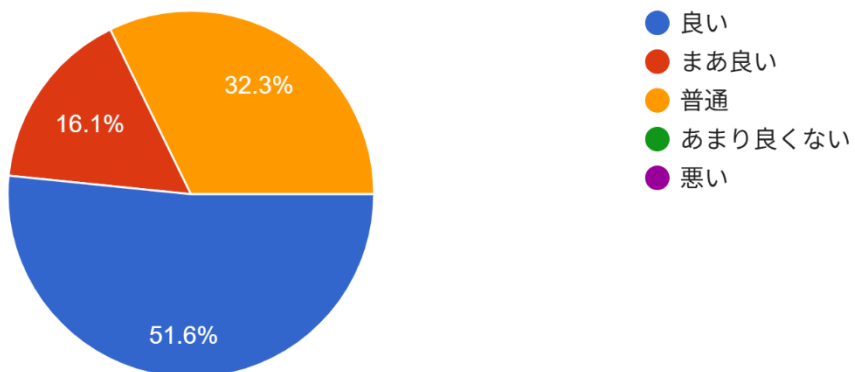
### D. シンポジウム全体について：それぞれの講演時間

31件の回答



### D. シンポジウム全体について：全体的な評価

31件の回答

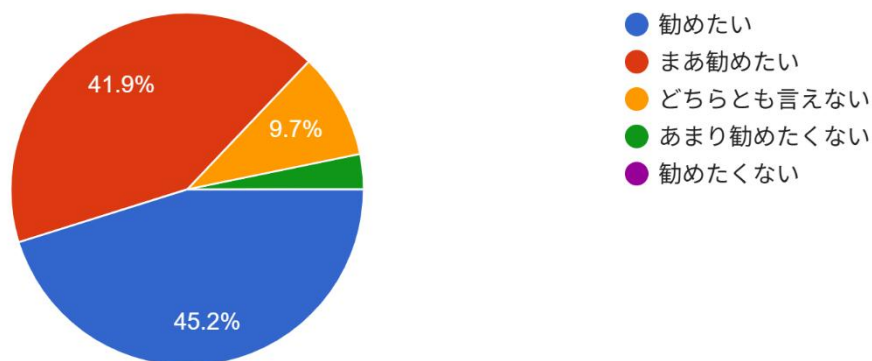


D. 上記の「全体的評価」にした理由を教えてください。18件の回答

- ・現状がよくわかった
- ・時間的バランスが良かった
- ・#7119と院内電話相談の双方の認識や整理がまだできていなかったように思えたため内容がとても良かった事と先生の意見を直接聞くことができた事。
- ・病院での対応を理解できたこと、電話相談の目指す姿を知ることができたことから評価した。
- ・救急看護学会の電話相談トリアージ受講しています。各学会がどんな思いで事業に取り組まれているのかがわかりもっと現場でも取り組まねばならないと感じました。#7119のことは知っていましたが、背景を知る事ができ、もっと周知させなければならぬと感じました。学会だけではなくこのような機会があればまた参加させていただきます。ありがとうございました。
- ・AIについて理解が深まりました。
- ・意見が活発に飛び交い、それでいて互いの意見を尊重し合う和やかな雰囲気が良かったため。
- ・時間的制限があるため、なかなか最終的に目指すところを明確に伝えることが難しいなと感じました。
- ・質問時間が短いのと、質問がしづらい
- ・情報を共有できたから
- ・救急電話相談に関する最新の知見や将来の課題など多くの学びがあった。
- ・近い将来の電話相談の方向性、課題がクリアとなった。
- ・もう少し具体的な話をしてほしい。
- ・もう少し具体的な話をしてほしい。日本救急看護学会からは方向性を示してほしい
- ・時間通りに進行できていたから。
- ・わかりやすく、新規性があって素晴らしかった。
- ・現況と今後の展望というテーマにとっても沿っており、聞かせていただき今後の#7119が進んでいく方向への準備、心構えができると感じ、価値のある時間でした。
- ・携わっている事業に深く関係があり、事業への理解が深まったため

同僚にこのシンポジウムへの参加を勧めたいですか

31件の回答



上記の回答にされた理由を教えてください。17 件の回答

- ・勉強になる
- ・あらゆる角度からのご意見を聞く事ができた
- ・森村先生、櫻井先生の話を書く事ができる貴重な講演でした。
- ・他職種間での理解を深めるため。共通認識を得るため。
- ・現場の事だけでは視野が狭くなり地域に貢献できないと感じます。
- ・勉強になったため
- ・普段の業務では得られない知識を得られるため。
- ・凄く勉強になるため
- ・救急隊に乗務する救急隊員にとってはあまりなじみのない分野であるが、救急業務の全体像を掴みながら課題解決を図るために、新たな示唆を与えてもらえる機会になると思います。
- ・特に AI の話について、救急医療の他分野領域でも課題であるから。
- ・今後改善したら進めたい
- ・他職種も参加するので勉強になる
- ・救急隊員としてはどちらとも言えない。看護師向けなので。
- ・もっと沢山のの方々に聞いて欲しかったので、学術集会との抱き合わせでもよかった。
- ・現場で実際に指導や教育、全体の管理を任されている者は是非参加する事を勧めます。7年前の第1回のシンポジウムにも参加させていただき、地域それぞれではあるが、#7119の役割方向性を森村先生がご説明下さり再確認いたしました。これは全国统一です。それを、これから勤務される看護師の皆さんに説明する役割を私共は担っているからです。待ちに待った今回の第2回では、他の地域の取り組みや、教育、苦勞されている事項についても聞くことができました。共感できる部分や、今後の課題もみえました。そして、AI導入については先生方が既に着手されている事に、驚き、近い将来と一気に現実味が出てきました。導入されている埼玉県の現状も聞くことができ、今後看護師不足の中、AIがどのような役割でどのような実施方法にするのか？ハイブリッドというヒントもいただきました。看護師さんの働き方も変化するのだと感じました。やはり#7119に関わる多くの方が参加するべきと考えます。本当にこの度は素晴らしいシンポジウム開催ありがとうございました。
- ・同事業を担当する関係者へ広めたいため

以上